

令和 5 年度スマイルバス等の利用状況について

吉 野 町

1. はじめに

吉野町では奈良交通路線バスの廃止代替として平成 16 年度より福祉バスの運行が始まった。

平成 21 年 6 月には、自家用車を自由に利用できない人々が気軽に外出できる交通環境を創り、地域の活性化を図ることを目的として、コミュニティバス「スマイルバス」の運行を始めた。

その後、利用実績や利用者・町民からの要請などに基づき、ダイヤの変更やデマンド型乗合タクシーの導入、新たな路線の運行などの見直し・改善を重ねてきた。平成 27 年 10 月には隣接する川上村のコミュニティバス「やまぶきバス」と相互乗り入れを行い、路線バス八木大滝線を代替するとともに、吉野町・川上村の住民の利便性向上と運行の効率化を図ってきた。

令和 2 年度には、運行形態を現行の路線定期運行から区域運行（指定された乗降場所間を自由に乗降できるデマンド方式による運行）に切り替える構想が示され、令和 3 年度の実証運行を経て令和 4 年 4 月からデマンドバスの運行が開始された。その際、デマンドバスの運行開始前の時間帯や公共交通の需要が多い午前 8～9 時台に路線定期運行のスマイルバスを運行し、公共交通サービスを補完することとなった。

本資料は、令和 5 年度のスマイルバス（デマンドバス、路線定期運行バス）および吉野町内におけるやまぶきバスの利用実績を整理し、その結果についてとりまとめたものである。

なお、スマイルバス等の運行概要を下表に示す。

表－1 スマイルバス等の運行概要

名称（運行主体）	運行日	運行区間	運行時間帯・便数等	運賃
スマイルバス デマンドバス	毎日	希望するバス停～ バス停	8:00～17:00 の希望する時刻 17:30～19:30 に上市駅発 4 便	200 円（町民 登録者）
スマイルバス 路線定期運行バス	平日	小名→吉野病院 鈴の音橋西詰 →吉野病院	小名方面発 3 便（6:27～8:46） 南国栖方面発 2 便（6:28,7:28）	200 円
やまぶきバス （川上村）	平日 土曜日	川上村～樫尾・国 栖～吉野病院	平日：樫尾経由 4 往復 国栖経由 1 便（吉野病院行のみ） 土曜日：樫尾経由 3 往復	200 円
ゆうゆうバス （吉野郡 2 町 3 村）	毎日	下北山村～樫尾～ 上市駅～福神駅	1 往復	対距離制

2. スマイルバス等の利用実績

(1) 年間利用者数の推移

図－1 は、福祉バスが運行開始された平成 16 年度以降について、福祉バスおよびスマイルバスの利用者数の推移を示したものである。

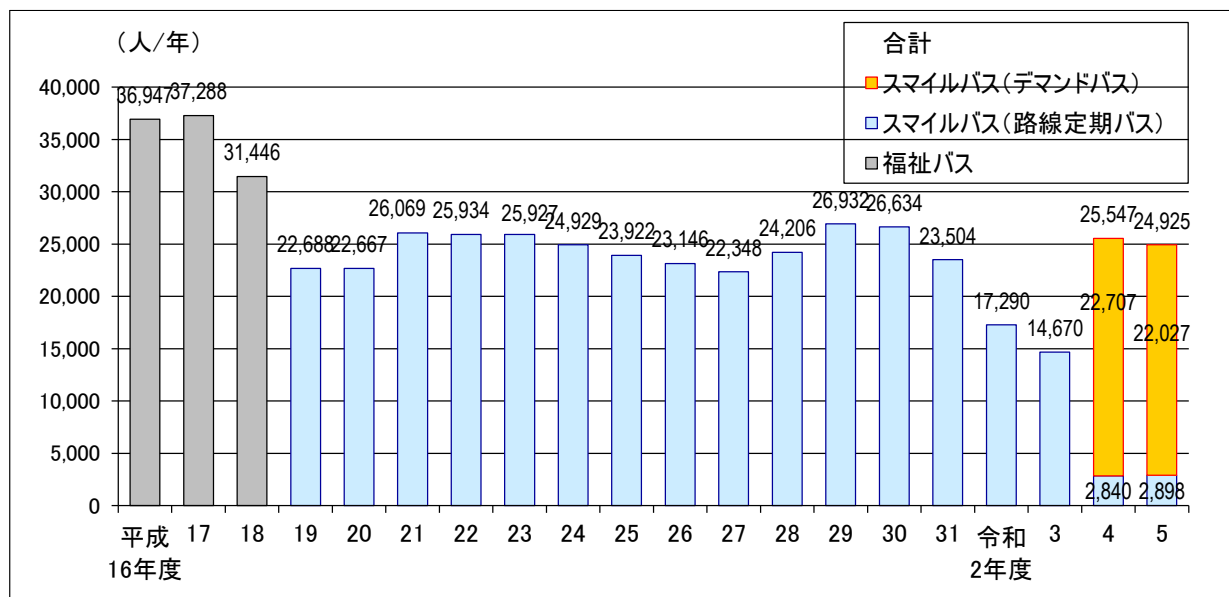
運賃無料の福祉バスは、年間 3 万人を超える利用があった。

平成 21 年 6 月に福祉バスとスクールバスを一体的に運行することによりスマイルバスに路線再編したが、大人 1 乗車の運賃を 200 円に設定したこともあって福祉バスより利用者が減少し、平成 21～31 年度の年間利用者数は 22,000～26,000 人程度で推移した。この間、やまぶきバスとの相互乗り入れ（平成 27 年 10 月）をはじめ、運行サービスの改善を図ってきた結果、平成 29 年度の利用者数は 26,932 人となり、スマイルバス転換後、最多となった。

ところが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って令和 2 年 2 月頃から利用者が急減し、令和 2 年度の利用者数は 17,290 人に落ち込み、さらにデマンドバスの実証運行（無料）を実施した令和 3 年度には 14,670 人まで減少した。

こうした中で、令和 4 年度からデマンドバスの運行を開始したが、令和 4・5 年度にはそれぞれ 22,000 人余りがデマンドバスを利用した。6～8 時台にかけて吉野病院行のみ運行している路線定期運行バスには 2,800 人余りの利用があり、デマンドバスと路線定期運行バスを合わせた年間の利用者数は 25,000 人前後となった。

図－1 福祉バス・スマイルバスの年間乗車人数の推移



(2) スマイルバス（デマンドバス）

① 月間利用者数

図-2・図-3 は令和5年度のスマイルバス（デマンドバス）の月別の利用状況（乗車人数と1日平均乗車人数）を曜日別に図化したものである。

令和5年度の1年間に22,027人がデマンドバスを利用した。月間の利用者数は1,593～2,166人であった。このうち、平日は1,380～1,726人、土曜日は105～242人、日曜祝日は75～233人が利用した。月別には10月が2,166人で最も多く、5・6・11・12月は1,900人余りの利用があった。1月は1,563人に留まり、その他の月は概ね1,700～1,800人が利用した。

1日平均乗車人数は平日が68～86人、土曜日が26～60人、日曜祝日が12～35人程度であった。

図-2 スマイルバス（デマンドバス）の月別・曜日別利用者数（令和5年度）

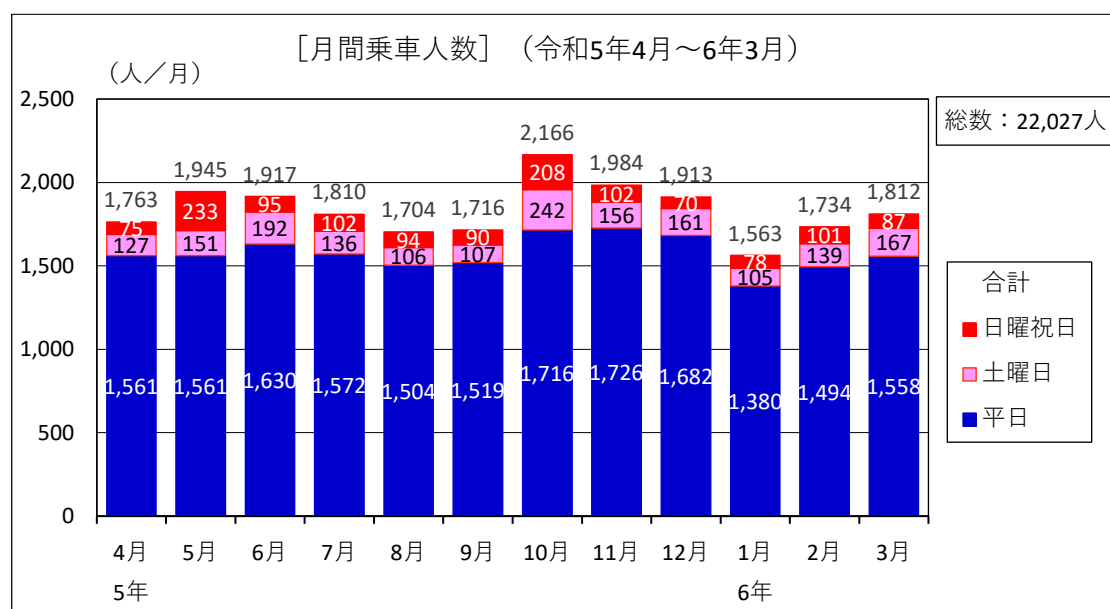
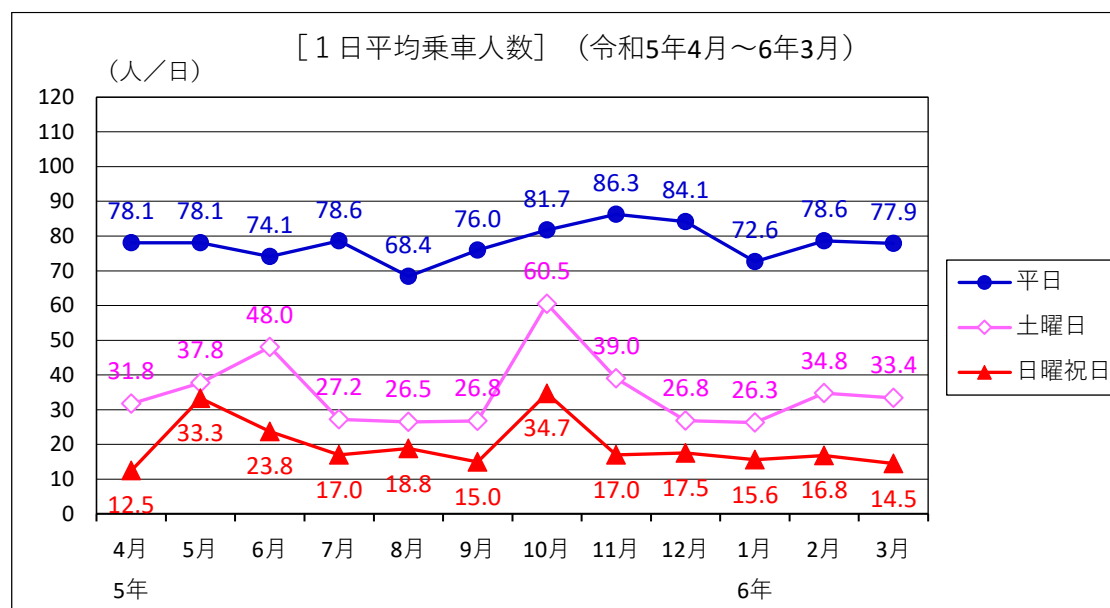


図-3 スマイルバス（デマンドバス）の月別・曜日別1日平均利用者数（令和5年度）



② 性別・年齢別の利用状況

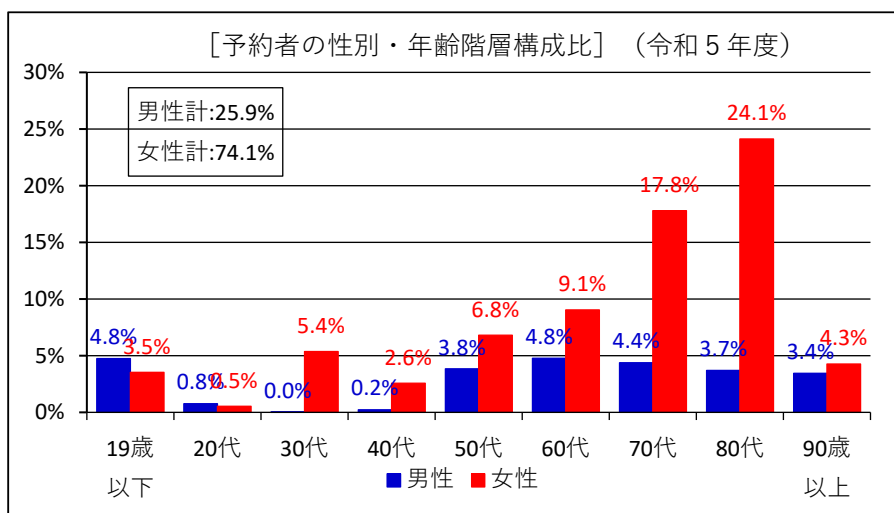
図－4 は令和 5 年度中に実車運行したデマンドバス予約者の性別・年齢階層別の構成比を図化したものである。

予約者の約 4 分の 3 に当たる 74.1%が女性による予約であった。

性別・年齢階層別には、80 代の女性による予約が 24.1%で最も多く、70 代の女性が 17.8%で 2 番目に多かった。これに対し、70～80 代の男性の予約は 3.7～4.4%に留まった。この背景には高齢者でも男性は自分で運転できる人が多いのに対し、高齢の女性は運転免許を持たない人が多く、高齢女性の単身世帯においてデマンドバスの必要性が高いことがあるものと推察される。

高齢者以外では、30～50 代の女性や 19 歳以下の予約が少なからず見られた。

図－4 デマンドバス予約者の性別・年齢階層別の構成比（令和 5 年度）



③ 利用時間帯

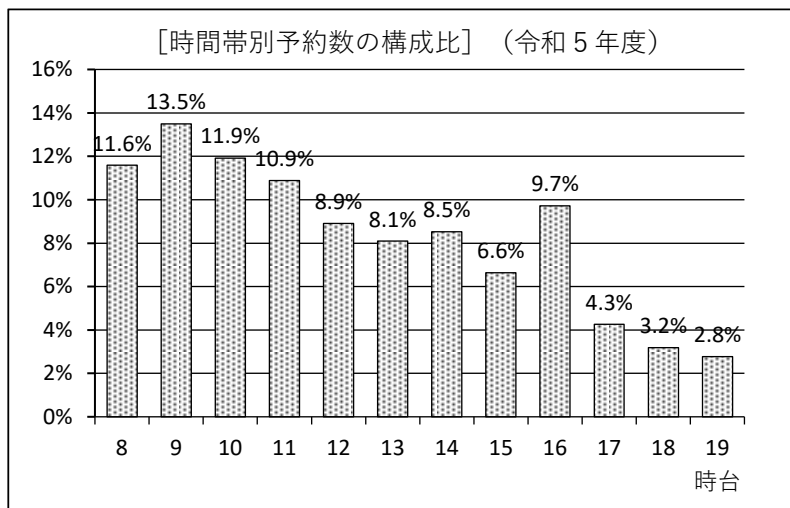
デマンドバスの時間帯別の予約数の構成比を図－5 に示す。

最も予約の多かった時間帯は 9 時台（13.5%）であった。次いで、10 時台・8 時台・11 時台の予約が多く、これらの時間帯では 11%前後を占めた。

一方で、12 時台以降の予約は 10%を下回り、15 時台は 6.6%に留まった。また、出発時刻を限定し上市駅発で運行した 17 時以降の予約数は 2.8～4.3%であった。

このように、デマンドバスは午前中を中心に利用され、午後の利用は午前中の 5～6 割程度であった。

図－5 デマンドバスの時間帯別予約数の構成比（令和５年度）



（３）スマイルバス（路線定期運行）

令和５年度のスマイルバス（路線定期運行）の利用状況（各便の利用者数と１日平均利用者数の月間の動向）を図－６に示す。

月間の利用者数は５コース合計で１９１～３１１人であった。月によりばらつきはあるが、各コースとも概ね３０～８０人の利用が見られた。小名 ８：４６ 発はデマンドバスの運行時間帯であるが、通院や買い物などで出掛ける人が多い時間帯であり、路線定期運行バスでも一定の利用が見られた。

また、折れ線は令和４年度の５コース合計の利用者数を示すが、４～６月は令和５年度の利用者数が令和４年度を上回った。５～１１月はほぼ同じ水準で推移したが、１２月以降は令和５年が下回った。

便別・バス停別の乗降者数（令和５年度）を次頁の表に示す。

図－６ 路線定期運行バスの月別・便別利用者数（令和５年度）

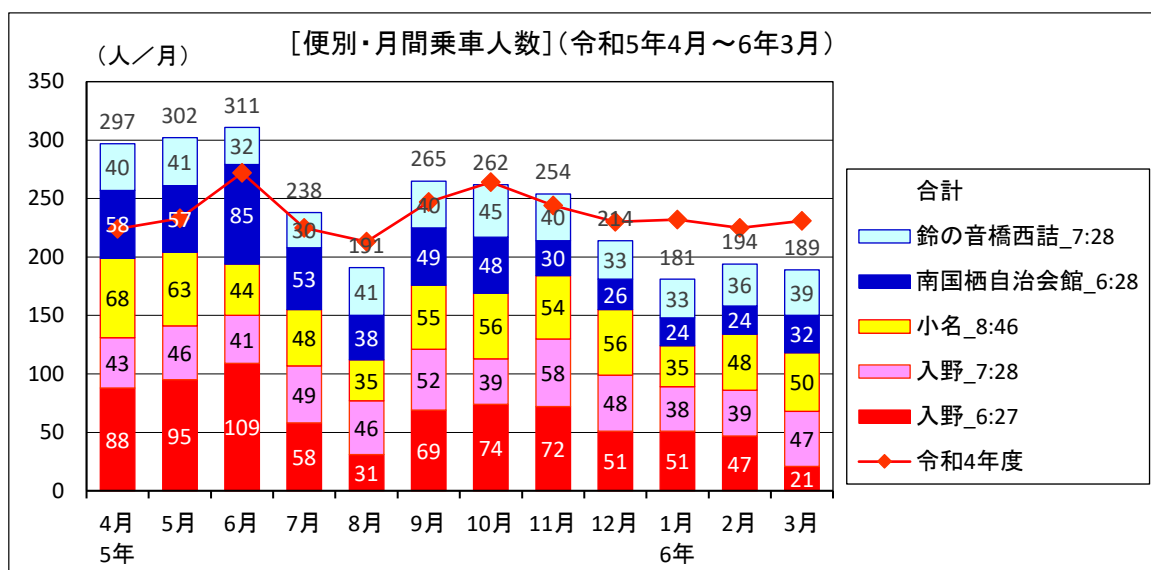


表-2 路線定期運行バスの便別・バス停別乗降人数（令和5年度）

小名・入野→上市駅・吉野病院									南国栖→上市駅・吉野病院								
平日									平日								
コース	Aコース		Aコース		Aコース		R5.4～6.3		コース	Bコース		Bコース		R5.4～6.3			
行 先	上市駅		上市駅		吉野病院		合計		行 先	上市駅		吉野病院		合計			
運転日									運転日								
始発時刻	6:27		7:28		8:46				始発時刻	6:28		7:28					
バス停	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降	バス停	乗	降	乗	降	乗	降	乗	降
小 名					11		11	0	鈴の音橋西詰			2		2			
小 名 口					12	0	12	0	南国栖自治会館	1		9	0	10	0		
入 野	8		13		18	0	39	0	南 国 栖	1	0	13	0	14	0		
下 色 生	0	0	1	0	4	0	5	0	南国栖隧道口	0	0	24	0	24	0		
中 色 生	1	0	1	0	73	0	75	0	国 栖 東	0	0	53	0	53	0		
上 色 生	0	0	0	0	0	0	0	0	高 橋 東	0	0	45	0	45	0		
笛 吹	12	0	9	0	6	0	27	0	国 栖	33	0	21	1	54	1		
三 茶 屋	220	0	0	0	25	0	245	0	新 子	11	0	24	0	35	0		
上 柳	0	0	2	0	13	0	15	0	新子局前	104	0	41	0	145	0		
柳	6	0	4	0	14	2	24	2	窪垣内宮の下	0	0	5	0	5	0		
旧中竜門小	4	0	236	0	67	4	307	4	窪 垣 内	117	0	12	0	129	0		
下 柳	309	0	10	0	12	0	331	0	窪 垣 内 下	0	0	3	0	3	0		
地 蔵 前	0	0	0	0	5	0	5	0	大 野	0	0	0	0	0	0		
香 束	8	0	12	0	83	1	103	1	南 大 野	37	0	19	0	56	0		
下 香 束	0	0	0	0	0	0	0	0	吉 野 渡 場	6	0	4	0	10	0		
運 動 公 園	//	//	//	//	1	1	1	1	矢 治 若 山	0	0	1	0	1	0		
山 口	89	1	6	1	31	0	126	2	上 矢 治	10	0	136	0	146	0		
津風呂湖北口	14	0	63	0	77	4	154	4	下 矢 治	3	0	17	0	20	0		
旧 吉 北 小	7	0	2	0	3	0	12	0	菜 摘	0	0	0	0	0	0		
龍門郵便局	2	0	0	0	6	0	8	0	消 防 署 北	0	0	0	0	0	0		
西 谷 口	4	0	136	0	97	0	237	0	宮 滝	92	0	2	0	94	0		
佐 々 羅	63	0	33	0	10	0	106	0	長 崎	0	0	4	0	4	0		
峰 寺	1	0	0	0	2	0	3	0	上 檜 井	11	0	10	0	21	0		
志 賀	1	0	3	0	29	0	33	0	檜 井	3	0	2	0	5	0		
峰 寺 口	0	0	0	0	1	0	1	0	下 檜 井	37	0	0	0	37	0		
立 野 口	0	0	10	2	0	8	10	10	津風呂湖口	0	0	0	0	0	0		
立 野	0	0	0	0	0	2	0	2	河 原 屋	0	0	0	0	0	0		
轟	0	0	5	0	1	0	6	0	立 野 口	0	0	2	0	2	0		
上市水泳場	1	0	0	0	0	0	1	0	立 野	0	0	0	0	0	0		
吉野町役場前	16	0	0	4	4	47	20	51	轟	2	0	1	0	3	0		
上市局前	0	0	0	0	1	13	1	13	上市水泳場	1	0	0	0	1	0		
リバーフィールドよしの	0	0	0	1	0	33	0	34	吉野町役場前	55	1	0	9	55	10		
上 市 橋	0	1	0	1	0	11	0	13	上市局前	0	0	0	0	0	0		
上 市 市	0	0	0	0	0	13	0	13	リバーフィールドよしの	0	0	0	3	0	3		
上 市 駅		764	0	474	6	379	6	1,617	上 市 橋	0	1	0	1	0	2		
吉野大橋南詰			0	0	0	0	0	0	上 市 市	0	0	0	0	0	0		
吉 野 病 院				63		94		157	上 市 駅		522	0	309	0	831		
									吉野大橋南詰			0	1	0	1		
									吉 野 病 院				126		126		
利用者数計	766	766	546	546	612	612	1,924	1,924	利用者数計	524	524	450	450	974	974		
運行日数	243		243		243		243		運行日数	243		243		243			
1日平均利用者数	3.15	3.15	2.25	2.25	2.52	2.52	7.92	7.92	1日平均利用者数	2.16	2.16	1.85	1.85	4.01	4.01		

(4) やまぶきバス

図－7 は令和 5 年度のやまぶきバスの平日の利用者数について、吉野町内で乗降した人数（町内で乗車し、かつ町内で降車した人数）を図化したものである。

上市駅・吉野病院行では、南国栖 8:54 発（吉野病院行き）の利用が突出して多く、月間 48～85 人の利用があった。この便は、前述の小名 8:46 発のスマイルバスと同様、デマンドバスの運行開始後の時間帯に運行されているが、買い物や通院を目的とした多くの人が利用していると推察される。利用者数は、小名発の便を上回った。

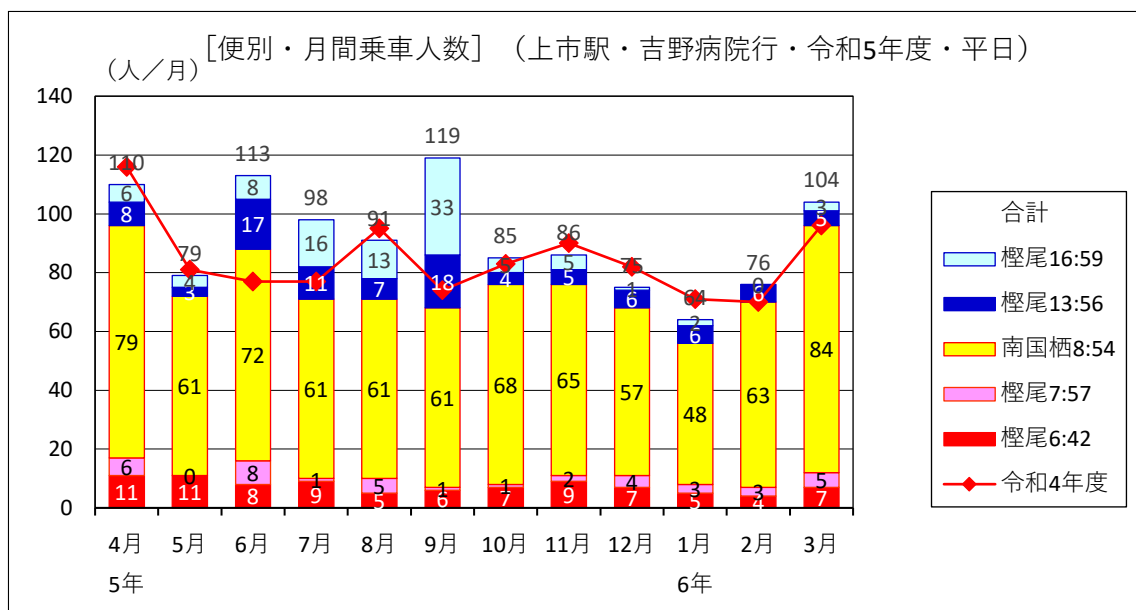
また、吉野町から川上村に向かう便では、吉野病院 9:20 発において 4 月、8 月、9 月の利用が月間約 40～60 人見られた。利用実績のデータを詳細に見ると、これらの月では宮滝での降車が多いほか、この便は上市駅に 9:20 前後に到着する近鉄（特急、急行）に接続していることから、観光などを目的とした町外居住者による利用と考えられる。

赤色の折れ線は令和 4 年度の利用者数（全便の合計）を示すが、令和 5 年 6 月・7 月・9 月は令和 4 年度を大きく上回り、他の月もほぼ同程度の利用があった。

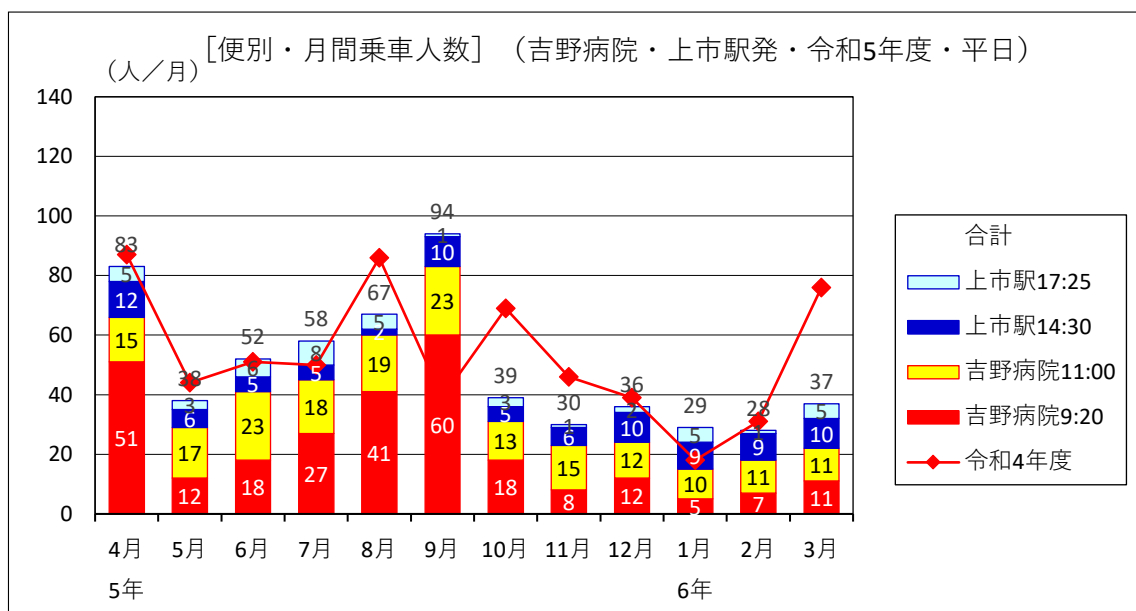
なお、土曜日の利用状況については、利用者数が少ないため割愛する。

図ー7 やまぶきバスの月別・便別利用者数（吉野町内のみ・令和5年度・平日）

<川上村→吉野町>



<吉野病院・上市駅発>



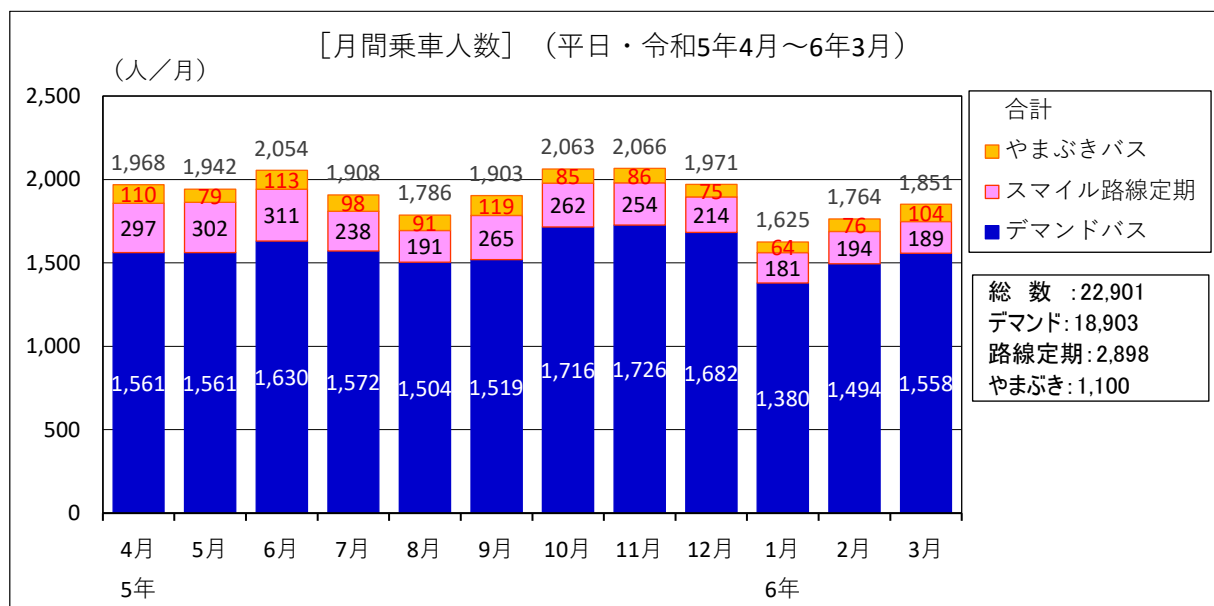
(5) スマイルバス・やまぶきバスの利用者総数

図－8・図－9 はスマイルバス（デマンドバス、路線定期運行バス）とやまぶきバスの令和5年度の月別の利用状況（乗車人数と1日平均乗車人数）を一体的に図化したものである。なお、路線定期運行バスの運行日が平日に限られることから、平日を対象として図化している。

令和5年度の平日に、スマイルバスとやまぶきバスを合わせて22,901人の利用があった。このうちデマンドバスの利用者数は18,903人、路線定期運行バスは2,898人でそれぞれ82.5%、12.7%を占めた。月間の利用者数は、合わせて1,625～2,066人となった。

1日平均利用者数は、デマンドバスが68.4～86.3人／日、路線定期運行バスが8.7～15.1人／日、やまぶきバスが3.4～6.0人／日であった。

図－8 スマイルバス・やまぶきバスの月別利用者数（令和5年度・平日）



図－9 スマイルバス・やまぶきバスの月別1日平均利用者数（令和5年度・平日）

